

令和7年3月22日

令和6年度 南が丘小学校の年度末報告書

津市立南が丘小学校

本年度の学校教育目標

未来を切り拓く、たくましい子どもの育成

(㊦らいにむかって、㊦かまとともに、㊦んなで、㊦んぱり、㊦もいやりを持ち、
㊦しこく生きる子)

具体的な行動計画

学校教育目標の実現に向け、8の具体的な行動計画を立て取組を進めてきました。

1 地域とともにある学校	2 小中一貫教育、保幼小の連携
3 確かな学力と楽しい英語教育	4 人権教育
5 特別支援教育	6 生徒指導
7 健康安全教育（安全・食・保健）	8 教職員の資質、チーム力向上、 総勤務時間の縮減

学校運営協議会の役割

学校運営協議会は、学校経営方針の承認の他、学校への支援の在り方について年3回の協議を行いました。最終の第3回会議において、8つの重点取組の進捗状況を校長が報告し、これらの取組が子どもの姿にどのように反映されたかを学校自己評価の結果をもとに協議しました。

学校自己評価

学校は、評価のための「めざす子ども像」を示し、児童と教員がそれぞれ、学期ごとに評価を行いました。調査は「めざす子どもの姿」に対して、それぞれ児童と教員が3段階で自己評価を行いました。結果は以下の表のとおりです

めざす子ども像

《自分で考え、判断し、行動する子》

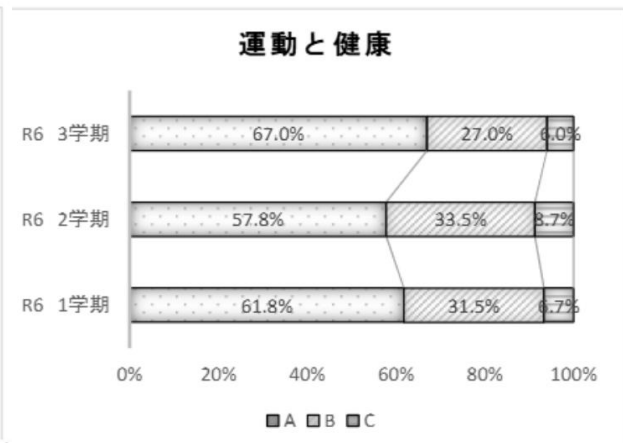
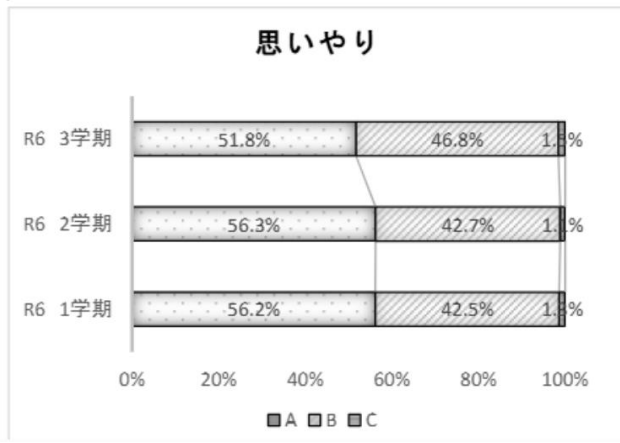
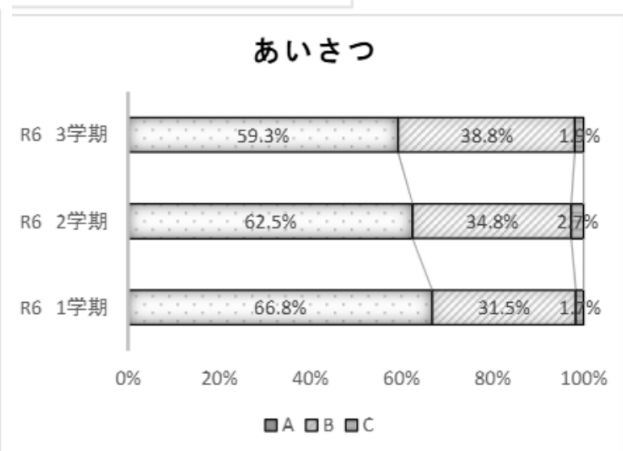
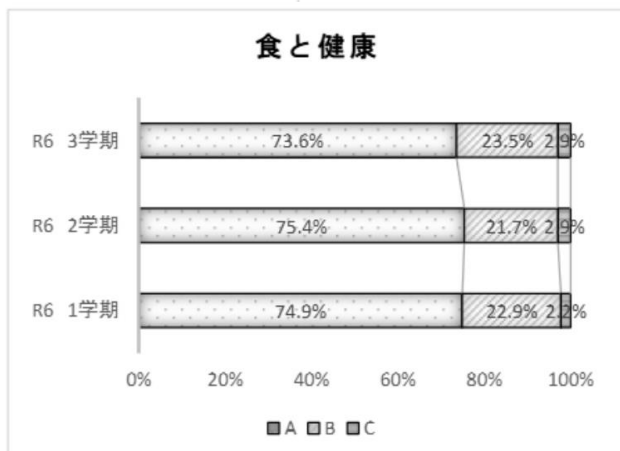
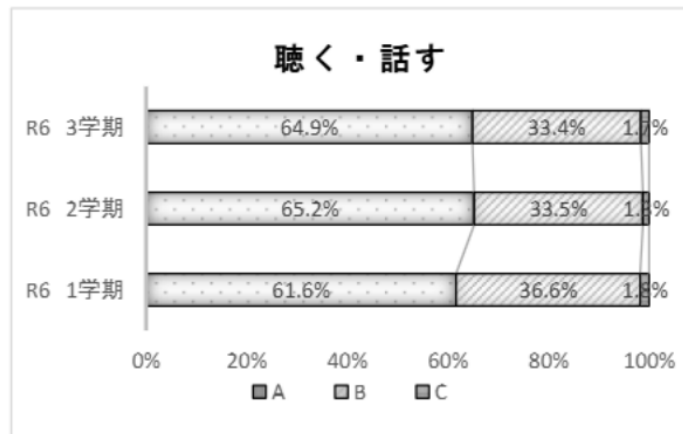
(知) 自ら進んで学び、聞き合い、自分の考えを表現できる子

(徳) 自分を大切にするとともに、誰に対しても思いやりのある言動ができる子
進んで元気にあいさつができる子

(体) めあてを持って、健康な体づくりができる子

▼表1 児童アンケートの結果

(A:できた B:まあまあできた C:できなかった)



【考察】

ほとんどの質問項目で年間を通して肯定的に答える児童の割合は高い状態を維持しています。これは、それぞれの学級において、また、担当の委員会活動を通して継続して意識付けをしていることによるのではないかと考えられます。

表2 教員の観察調査結果（3点評価の平均）

	めざす子ども像	評価規準	1学期	2学期	3学期
知	・自ら進んで学び、聴き合い、自分の考えを表現できる子	聴く・話す	2.0	2.1	2.2
徳	・自分を大切にするとともに、誰に対しても思いやりのある言動ができる子 ・進んで元気にあいさつができる子	思いやり	2.0	2.2	2.2
		あいさつ	2.1	2.2	2.1
体	・めあてを持って、健康な体づくりができる子	運動と健康	2.2	2.2	2.5
		食と生活	2.2	2.2	2.7

（注：3：児童の80%以上が規準を満たすもの 2：50～80%未満のもの 1：50%未満のもの）

全体的に微増ではありますが、毎学期の積み上げにより評価が向上していることがわかります。その中で、「聴く・話す」については、本年度、各学級で常に話し合いの様子を録画し、児童がそれを振り返り、よりよいものにしよう意識することができたからだと考えられます。今後は、自分の考えと友だちの考えを比べ、さらに一歩進んで自分の考えをふくらませたり、深めたりしながら、相手に自分の考えや思いを伝えあい、ともに学び合う姿をめざしていきたいと考えます。

学校教育活動（津市、学校支援委員会による支援を含む）

8つの重点取組に関する主な活動を写真で紹介します。

<p>▼地域とともにある学校 図書館ボランティアの方による図書館の環境整備や「おはなしのへや」グループによる読み聞かせなど子どもたちの読書教育に大変ご支援をいただきました。また、南が丘コミュニティ・ネットによる家庭科支援、昔のくらしの学習支援、安全パトロールの会による登下校の見守り、校外学習における引率など多方面にわたり支援をしていただきました。また、今年度は婦人会の方に運動会表現運動として津音頭の指導をしていただきました。</p>	<p>▼小中一貫教育、保幼小の連携 小中管理職・担当で定期的に推進協議会を開き、進捗状況の確認や情報の共有を行いました。実際の行事や情報共有については6つの推進部会に分かれ進めてきました。全国学力・学習状況調査結果の分析や対応、人権・英語科を含む小中授業の相互参観、小中合同挨拶運動などそれぞれの部会ごとに相談しました。また、近隣のルーテルふたば認定こども園と情報共有や行事の実施、学期1回の架け橋ワーキング会議の実施を行いました。</p>
---	---



▼授業研究推進・英語科教育

「教育課程特例校」「特色ある学校プロジェクト事業」

本校は、文部科学省の教育課程特例校として引き続き1年生から英語科に取り組んでいます。皇學館大学の教授のご指導を仰ぎながら、昨年度作成した各学年の学習カリキュラムと指導案をふまえて、楽しい英語教育をめざしました。また、児童がより英語に普段から親しむことができるよう、給食時間における英語の放送やタッチボタンを設置するなどの環境整備の取組を行いました。

また、授業研究推進については、児童が友だちの意見をしっかり聴き、自分の考えと比較したり、話し合ったりすることで自分の考えをより深めていく授業実践に取り組みました。職員が市内・県外の先進校視察を積極的に行い、校内で還流をすることにより個別・最適な学習を行うための授業についても研究を行いました。また、本年度は全教職員が公開授業を行った。校内研修も講話型ではなく、一人一人が主体者として、教師自身も学び合う研修に取り組みました。



▼人権教育

12月10日に小学校高学年・中学生合同で講師に松村元樹先生をお迎えし、「無関心でいられても無関係ではられない人権～人権学習以外の日常こそ重要～」という演題で身近な人権について考える機会をもちました。当日は地域・保護者の方も参加がありました。

▼特別支援教育

10月17日(木)に小学校・中学校の特別支援学級の児童が合同で「白玉団子づくり」を行いました。役割分担をする時には中学生・小学生高学年の児童が中心となり、作業に戸惑っている児童には積極的に声をかけながら全員が楽しく励まし合いながら協力して行うことができました。



▼生徒指導

「あいさつ運動」(随時)

登校時に合わせて、小学校・中学校の生活委員会の児童・生徒が小学校・中学校のそれぞれ校門付近であいさつ運動を行いました。今年度は生活委員会のみに限らず、様々な学年から自主的に挨拶運動に参加する児童も増え、意識を高めることができました。



▼健康安全教育(安全・食・保健)

学期に1回の避難訓練では火災・地震・不審者侵入を想定した訓練を行いました。事前にはそれぞれ各学級で命を守るためにどうすればよいのかについて学習しました。また、今年度は「守ってくれてありがとう運動」の津市指定校として横断の仕方についても学習をしました。健康教育・食教育についてはそれぞれ養護教諭・栄養教諭が各学級で授業をしました。



ここに紹介したのは、取組の一部です。他にもさまざまな場面でサポートして下さったボランティアの皆様をはじめ保護者・地域の皆様のご理解とご協力に、心より感謝いたします。来年度もよろしくお願いいたします。